

労働安全衛生方針

当工場は「その技術は命のために」を企業ポリシーとし、生命関連企業として「より高品質で高水準、そして安全な医薬品を安定供給すること」を目指し、「安全をすべてに優先させる」という理念に基づいて以下の取り組みを実践します。

1. 労働安全衛生マネジメントシステム (OH & SMS) の構築と順守

当工場の事業活動に伴う労働安全衛生リスクを OHSAS18001 規格に適合する労働安全衛生マネジメントシステムを導入して維持管理し、継続的に改善します。

2. 労働安全衛生関連法規制等の順守

当工場の労働安全衛生に関連する諸法令及び当工場が同意するその他の要求事項を順守します。

3. 労働安全衛生リスク低減への取り組み

当工場の事業活動に伴う労働安全衛生リスクを低減するために、次の項目を重点テーマとして取り組みます。

- ①各職場で危険源の特定・評価をおこない、リスク低減に対応する管理 / 改善の推進
(リスクアセスメント)
- ②労働災害の原因及び再発防止対策の推進
- ③労働衛生の 3 管理である作業環境管理、作業管理及び健康管理の推進

4. 目標の設定

労働安全衛生活動の推進のため、目標を設定し、具体的な計画を策定し実行します。目標及び具体的な計画は定期的に見直します。

5. 労働安全衛生活動の評価

パフォーマンス (実施状況を含む成果) を確認するために、定期的な内部監査とマネジメントレビューをおこないます。

6. 安全で快適な職場創りを目指し、この労働安全衛生方針の実現のため、従業員の安全衛生教育をおこない労働安全衛生活動の有効性を自覚させ、関連部門及び取引先を含めて全員で労働安全衛生活動を推進します。

